

酪農部  
発代々木が乳々木に!?  
「らくのうマルシェ」が2か月連続開催!!

国産牛乳・乳製品の直売会「らくのうマルシェ」が、12月10日(土)と1月14日(土)に2か月連続で開催されました。

今回の開催も本所所在地である東京・代々木の酪農会館エントランスに設けられた販売ブースに、全国13メーカーの牛乳・乳製品46アイテムが販売されました。

今回の開催は一昨年11月、昨年4月に続く第3・4回目となり、牛乳の飲み比べやチーズの試食販売などにより、各日4～500名の来場者に国産牛乳・乳製品の魅力をお伝えすることができました。

本イベントは、本会の牛乳・乳製品の消費拡大活動「I♥MILK ACTION2022winter」の活動の一環として、運営スタッフも部門を跨ぐ職員15名で構成されました。

今回で4回目の開催となることもあり、前回までに来場頂いた方々から頂いた「様々な牛乳の商品の特徴を教えて欲しい」といった声を反映した“牛乳飲み比べブース”には、製造方法や産地、乳牛の種類が異なる3種類の商品が用意され、商品ごとの特徴を本会職員が直接説明し来場者に商品の違いや特

徴を感じ牛乳・乳製品への関心をより深めて頂くことができました。

そして、前回までに来場者から、国産フレッシュチーズやヨーグルトが欲しいといった声も反映した幅広いラインナップが用意されました。国産フレッシュチーズはプロセスチーズに比べ、比較的高い価格帯ですが、来場者の関心も高く、予想以上の早い時間帯に完売することができました。

また、年末・年度末の牛乳乳製品消費拡大を目的に合わせて、会場ではJA全農の「抹茶ミルク」の販売や、Jミルクが作成したステッカー「カルシウム200+をとろう!」をお子様連れの方々に配布するなど他団体との連携した取り組みも展開されました。

12月、1月の開催となり、東京都心では気温も下がり、特に1月は小雨が降る中での開催となりましたが、多くの来場者で会場は活気で溢れかえりました。

酪農情勢は依然として厳しく、生乳需給もめまぐるしく変化するなか、酪農家の力になれるための取組について、毎回試行錯誤を繰り返しております。これからも、消費者に酪農と国産牛乳・乳製品の素晴らしさを伝えていきたいと思っております。(A.M)

